

第1章 基本知識

ビリヤードマナーについて

- ・お互いにプレーするときは” お願いします。” と最初に挨拶をしましょう。最後には” ありがとうございました。” と声をかけましょう。
- ・プレーするとき、他のプレーヤーに触れ合うことがないように注意し、お互いにプレーを譲り合いましょう。
- ・くわえたばこでのプレーはやめましょう。
- ・酔っぱらってのプレーは、他の人にも迷惑がかかりますので十分注意しましょう。
- ・テーブルのルールに飲物や、灰皿等、プレーに関係ないものは置かないようにしましょう。
- ・借りたキューやボールその他の道具は元の位置にもどしておきましょう。

以上の項目を守って、お互いに気持ちよくプレーしましょう。

キューについて

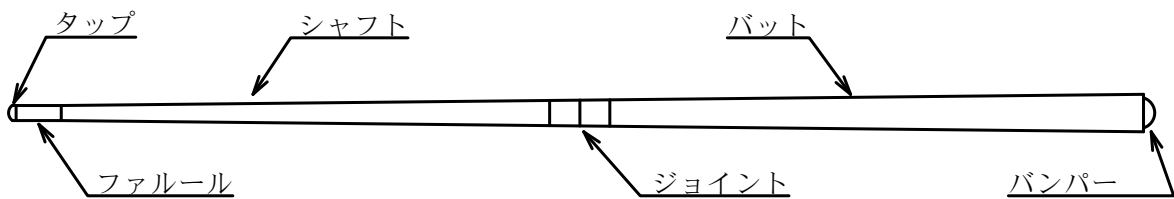
- ・キューはワンピースキューとツーピースキューがあり、現在はツーピースキューが多い。
- ・ポケットビリヤード用のキューは、

重さ	18～21オンス	(約511～約596グラム)
長さ	57～60インチ	(約145～約152センチ)
ティップの直径	12～14ミリ	

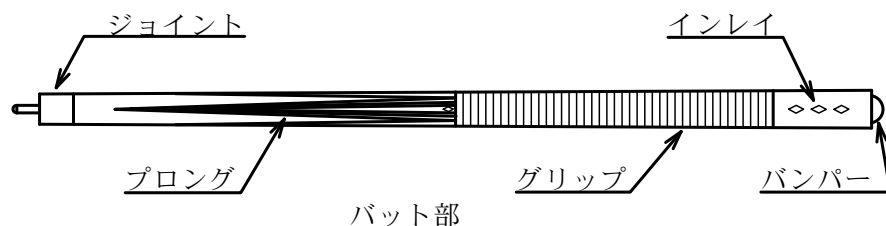
が標準である。

* 1オンス = 約28.4グラム
1インチ = 約25.4ミリ

キュー各部の名称



- ・タップ (TIP、ティップ)
タップは皮製で、牛、水牛、鹿、豚等の皮が使われる。
- ・ファルール (FERRULE、ツノ、先角)
ファルールは象牙、プラスチック、マイカルタ（紙、木、布に樹脂を浸したものの総称）等でできている。
シャフトの木が衝撃で割れないように保護している。
- ・シャフト (SHAFT)
シャフトは、カナダ産のハードロックメイプル（楓）材がよく使われる。
- ・ジョイント (JOINT)
ジョイントは、ツーピース用の継ぎ手部分であり、ネジが切っである。
外側の材質は、ステンレス、真鍮、プラスチック、木、象牙などである。
- ・バット (BUTT)
バット部は、下図に示す。
ジョイントに近い方は、木が使われており、中にいろいろな色の木で合わされているものがある。これらはさきがとがっているのが多い。これは、プロング
といって日本語では剣（けん）と呼んでいる。4 剣あるのが4 剣はぎといい、
そのほかに2 剣、6 剣、8 剣はぎ等がある。多くはこの様なデザインが見られる。
その他、貝、象牙、プラスチックなどが埋め込まれている（インレイと呼ばれている。）バット部分も多い。
これらのデザインは、見た目の綺麗さとともにバット部が曲がらないようにという理由からである。



- ・バンパー (Bumper)
キューを傷つけないように、衝撃吸収用のゴムが付けられている。

キューの選択

ゲームや練習を始める前に、キューを選択しなければなりません。ビリヤードルームにはキューを自由に使えるように用意してあります。その中から自分にあったキューを選ばなければなりません。

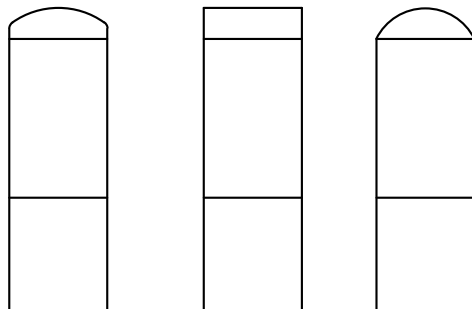
特に選択の基準になるのは以下の通りです。

- ・タップの形状
- ・キューの重さ
- ・キューの重心点
- ・キューのまっすぐなもの

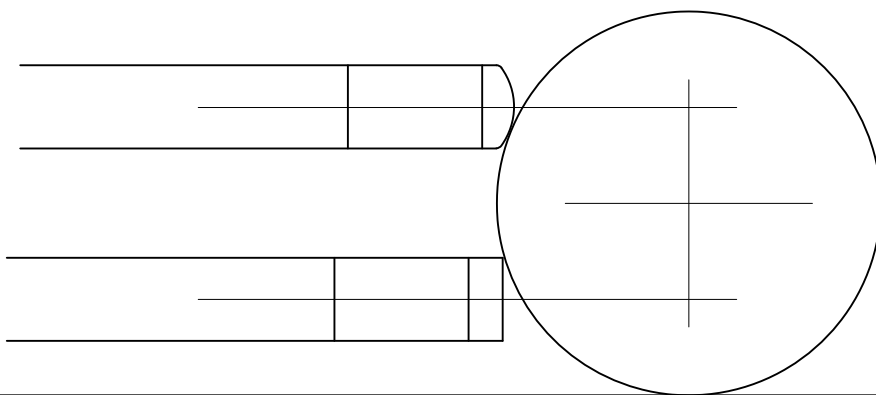
タップの形状

- ・キューの先端に付いているタップの形状は、上記4つの項目の中で非常に重要です。極端な言い方をすれば、最悪なタップでは満足に手球を突けません。タップの形状は、図のように平らすぎたり、丸すぎたりしているのよりはゆるやかなカーブのあるものが良い。

ちょうど良い 平らすぎる 丸すぎる



丸すぎたり平らすぎたりとキューミスやコントロールミスの原因となります。又、撞点の位置にずれが出てきて、思ったようにコントロールできない。



上の図で、平らすぎるタップだと引き球をショットしても接触面積が少なくキューミスをお起こしやすくなる。撞点位置もボールの中心よりになり、思ったより引けないことになる。

キューの重さ

キューの重さにもそれぞれありますので、自分にあった重さを選択します。キューの重さは18から21オンスぐらいがふつうですが、多く使われている重さは、18.5から19.5オンスぐらいです。持った瞬間に、重いか軽いかわかります。そのときちょうど良いと思った重さがあなたに合います。

キューの重心点

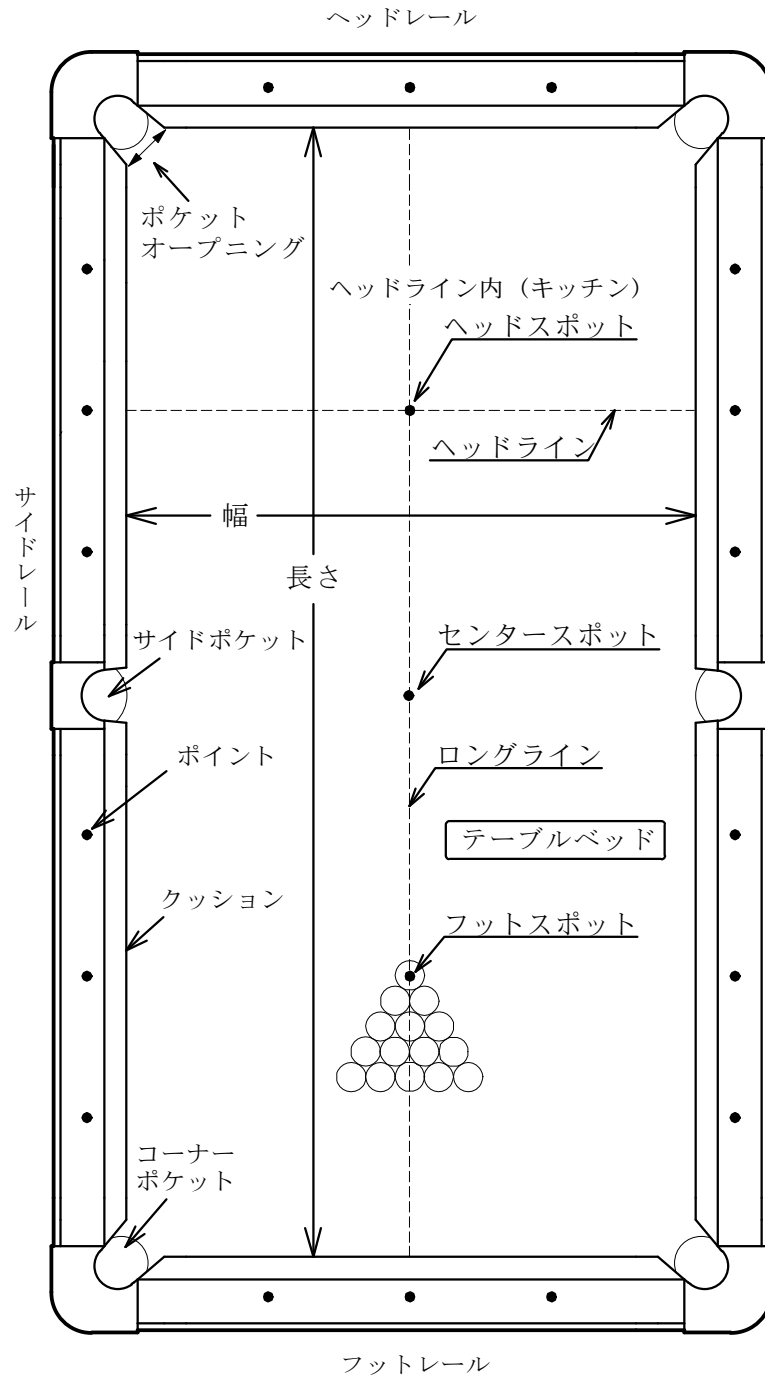
キューの重心もプレーに影響します。重心はグリップ部の先から6から10cmぐらいです。同じ重さでも、重心の位置によって持ったときの重さの度合いが違ってきます。シャフトの太さやグリップ部の太さやキューの長さによっても違ってきます。

キューのまっすぐなもの

キューがまっすぐになっているのも必要です。もし、シャフト部が曲がっているキューを使用するのは避けましょう。

テーブル

- テーブルの各部の名称は、下図を見て覚えてください。
- テーブルの大きさは、日本では中台が使用されており、クッション内径が、2540mm（100インチ）× 1270mm（50インチ）です。
- テーブルの高さは、大体75～80cm前後です。



ボール

- ・ポケットビリヤードに使用されるボールは、1個の白いボール（手球、キューボール）と1から15の番号がついた的球（オブジェクトボール）が使用される。
- ・ボールの大きさは、
直径 ・ ・ ・ ・ ・ 57.1mm（2.25インチ）
重さ ・ ・ ・ ・ ・ 170g（6オンス）
であるがメーカーによって重さに多少の幅がある。
- ・ボールは、番号で覚えるのではなく、色で次の的球を確認するとよい。
- ・ボールの大きさを感覚で覚えよう。
- ・番号と色の関係は以下の通り

ボールの色	塗りつぶした色	帯状の色
白色	手球	———
黄色	1番ボール	9番ボール
青色	2番ボール	10番ボール
赤色	3番ボール	11番ボール
紫色	4番ボール	12番ボール
橙色	5番ボール	13番ボール
緑色	6番ボール	14番ボール
茶色	7番ボール	15番ボール
黒色	8番ボール	———

- ・初心者が間違いやすいボール（線がついている方を下にして番号を見る。）



6番ボール



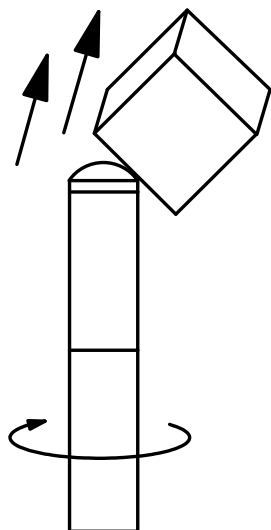
9番ボール

チョーク

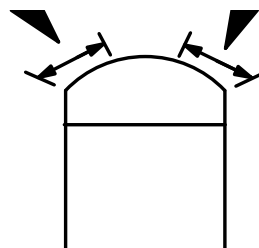
- ・ チョークは、タップのすべり止めに使用する。
- ・ つけないと突いたときミスショットをおこしやすくなる。
- ・ ショット毎につけることを習慣化しよう。チョークの大きさは、20mm角ぐらいです。
- ・ チョークの色は、テーブルのラシャの色に合わせて使用します。



- ・ 下図はチョークのつけ方を示す。



少なくともこの部分にはチョークをつける。



ボールラック

- ・通常は、15個をセットするトライアングル・ラック（三角形の枠）があり、セットの仕方にもコツがあるので覚えよう。
- ・ナインボール用として菱形のラックもあるが、トライアングル・ラックを使うのが普通である。
- ・特殊なものでは、セブンボール用のラックなどがある。

メカニカル・ブリッジ

- ・手球の位置が遠く、自分の手でブリッジができない時に、この道具を使用して、シャフトを固定する。
- ・メカニカル・ブリッジを使いこなすには、普通のみかけの厚みでショットするとはずしやすいので注意すること。

